

別記様式

随 意 契 約 結 果 書

件 名 及 び 数 量	車道透水性試験舗装に関する調査検討業務
契約担当官等の氏名 並びに所属する部局 の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官沖縄総合事務局 北部国道事務所長 高 良 保 英 (名護市大北4丁目28番34号)
契 約 締 結 日	平成18年 9月 7日
契約の相手方の氏名 及び住所	(財)道路保全技術センター 東京都文京区後楽2丁目3番21号
契 約 金 額 (消費税及び地方 消費税含む)	6,720,000円
予 定 価 格 (消費税及び地方 消費税含む)	6,783,000円
随意契約によることと した理由	別紙のとおり
備 考	

- 注) 1. 公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。
2. 予定価格を公表しないこととした場合、予定価格の欄には「非公表」と記載する。

## 随 意 契 約 理 由 書

1. 業 務 名 : 車道透水性試験舗装に関する調査検討業務
2. 履 行 場 所 : 北部国道事務所
3. 随意契約の相手方 : 名称 (財)道路保全技術センター  
住所 東京都文京区後楽2丁目3番21号
4. 随意契約適用法令 : 会計第29条の3第4項及び予決令102条の4第3号
5. 当該業務の目的・内容及び随意契約に対する理由

### (1) 当該業務の目的

河川浸水被害対策の一つである車道透水性舗装は、舗装体の貯留機能と路床への浸透などから都市内水害を抑制する有効な舗装であると考えられるが、その耐久性や雨水流出抑制の効果などに技術的な課題が多く残されている。このため、車道透水性舗装の試験施工箇所について、その有効性について確認するものである。

### (2) 当該業務の内容

本業務は、平成15年度に一般国道329号石川バイパスで施工した車道透水性舗装箇所において前年度までに実施した人工降雨(散水)実験、流出抑制効果及び耐久性に関する調査に引き続き、今年度も自然降雨、人工降雨(散水)実験、流出抑制効果、耐久性に関する追跡調査を行い、その計測データのとりまとめ及び有効性について検討を行うものである。

### (3) 随意契約理由

車道透水性試験舗装は平成15年6月「特定都市河川浸水被害対策法」の成立を受け、道路事業においても新設工事を行う場合は、透水性舗装や浸透・貯留施設を設置するような対策工が必要となった。そこで、車道舗装としての耐久性を持たせた透水性舗装の設計法や透水性舗装の雨水流出抑制性能を算定する方法を確立する必要がある。

また、本業務において実施する人工降雨実験は、散水量、散水方法等は設計法の解析を行ううえから最も重要な要素であり、解析においては過去の実績データを参考に試験舗装のテーマを把握した上で実施する必要がある。このため試験舗装の計画時から関与した当法人は熟知したうえで実施することができ、多年度にわたる同一場所での経験とデータの信憑性および過去の解析データとの整合性が確保されるとともに効率的に調査を行い、信憑性の高い解析ができる。

以上のことから、本業務を公平中立な立場で円滑且つ的確に遂行するためには(財)道路保全技術センターが唯一の契約相手であり、会計法第29条の3第4項及び予決令第102条の4第3号により随意契約を締結するものである。